

学校支援を積極的に進めよう

～「みな丸会」とのつながりを大切にしたPTA活動～

知立市立知立南小学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、今年度開校47年を迎え、児童数708人、28学級（内特別支援学級5）の中規模校である。知立市の南に位置し、学区は、住宅地が増えつつある中でも、学校の南側を流れる割目川や住宅地を取り囲む田畑など、自然が残る地域である。令和2年度からコミュニティ・スクールが立ち上がっており、「地域で子どもたちを育てる」という意識が強い。

2 研究のねらい

本校では、令和2年度に、学校・家庭・地域が連携して子どもの育成を支えることを目指し、知立南小学校区青少年健全育成協議会、通称「みな丸会」が発足した。「みな丸会」は、令和6年度より正式に学校運営協議会として活動している。それにより、これまでPTAが主に担ってきた通学路の安全管理や学校行事のサポート等の学校支援を地域全体で取り組むようになった。

そこで、PTAは、みな丸会の一員として、地域とともに学校を支える活動を行うことが大切であると考え、本研究に取り組むこととした。

3 研究の仮説

PTAが、学校運営協議会（みな丸会）の活動に積極的に関与することで、学校・地域と関わる機会が増え、地域と連携した学校支援を行うことができるであろう。また、保護者が無理なく参加しやすい活動にしていくことで、PTA活動に対して、前向きに参加する人が増えるであろう。

4 研究の方法

PTAが、学校運営協議会（みな丸会）の役員会に参加し、ともに活動を行うことで、地域と連携した学校支援を行う。また、PTA役員を中心として、構成する各委員会活動の見直しを図り、保護者が無理なく参加できる活動を模索する。

5 研究の実践

（1）学校運営協議会（みな丸会）との連携

ア アサギマダラの舞う学校を目指して

みな丸会では、児童・保護者・地域の人々が自然に親しみ、学校に特色を持たせることをねらい、日本で唯一の「渡り」をする蝶「アサギマダラ」を学校（学区）に呼ぶ活動を行っている。今年度は、3年生が総合学習でも活動に取り組んでおり、その講師を「とーちゃんの会」のメンバー（PTA役員兼務）が務めた。昨年度、実際にアサギマダラを呼び寄せることに成功した講師の話は、児童の興味を掻き立てた。



イ 田植え・稲刈り・収穫祭

毎年、地域の水田を借り、貸主を講師に迎えて稲作体験を行っている。地域NPO法人「か

きつ畑」の支援も受けつつ、P T A・とーちゃんの会・子どもの会が協力して行うことで、地域が一体となって児童の体験を支えている。また、田植えから収穫祭まで、年間を通じたつながりのある体験ができています。

ウ 学校環境の整備

学校の草刈りを、年3回実施している。P T Aも含めたみな丸会として、広く地域全体に呼びかけることで、多くの参加者が集まり、校庭の隅や体育館の裏といった、普段学校職員だけでは行えないところも整備できている。

(2) P T Aとしての学校支援

ア 校内マラソン大会ゼリープレゼント

校内マラソン大会の際、児童のモチベーションアップや糖分補給を目的とし、ゼリーを配付している。令和6年度は、希望アンケートの作成から、注文・配付までをP T A役員が行った。各教室に運び、子どもたちに一つずつ手渡した。



イ 学区巡回活動

生活安全委員会は、2か月に一度、担当地区の通学路や公園、コンビニや公共施設などを巡回し、P T A運営委員会にて報告することで、情報を共有している。見回り際には、地域のお年寄りや公共施設の方と会話をし、普段の子どもたちの様子も聞くことができ、報告に生かしている。この活動により、子どもたちが、事故やトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐことができています。

ウ 学校保健委員会

毎年、外部から講師を招き、保護者を対象に、心と体の健康について講演等を開催している。令和6年度は、N P O法人あいちC A Pプラスを講師に迎え、「いじめ・虐待・暴力」から子どもを守る方法について「おとなワークショップ」を行った。参加者からは、「有意義な時間だった」と好評を得た。

(3) 参加しやすい学校支援活動を目指して

「P T A役員になったから支援をする」というのではなく、「すべての保護者が、できるときに、できることを支援する」という態勢を目指し、子どもたちに必要なサポートを保護者ボランティアとして募集した。令和6年度は、1年生給食サポート、1・2年遠足引率補助、5・6年ミシン実習サポートなどを行った。二次元コードから直接申し込む形にしたところ、該当学年の保護者以外も、多くの申し込みがあり、P T A会員全体で学校活動を支援することができた。

6 研究の考察

P T Aが学校運営協議会に積極的に参加し、地域と一体となって学校支援に取り組んだことで、一部の保護者のみに多くの仕事が割り振られる状況は減ってきたと思われる。また、委員会を再編したり活動を見直したりすることで、保護者がP T A活動に参加しやすくなり、活動の充実につながった。

7 成果と今後の課題

P T Aを含めた地域全体で子どもたちを支えることで、「学校が楽しい」「みな丸会のイベントが楽しい」と感じる子どもたちが増えている。今後もみな丸会と連携し、保護者が効果的に関わりながら、「地域で子どもたちを育てる」ことをさらに推進していきたい。